



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 医学生物学研究所  
 コード番号 4557 URL http://www.mbl.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 淳  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括本部長 (氏名) 中井 邦彦 TEL 052-238-1901  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	5,398	6.7	△583	—	△488	—	△512	—
26年3月期第3四半期	5,057	3.4	△462	—	△364	—	△274	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 △535百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △309百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△19.81	—
26年3月期第3四半期	△10.62	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	12,755	8,103	63.3	312.46
26年3月期	13,021	8,754	66.9	337.03

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 8,078百万円 26年3月期 8,713百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,773	8.4	△789	—	△680	—	△754	—	△29.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	26,059,000株	26年3月期	26,059,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	204,248株	26年3月期	204,248株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	25,854,752株	26年3月期3Q	25,854,752株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)のわが国経済は、4月の消費税増税実施に伴う駆け込み需要後の個人消費の反動減の継続に加え、円安進行に伴う輸入物価の上昇、地政学的リスクの高まりなどから、依然として先行きの不透明な状況が続いております。

こうした中、当第3四半期連結累計期間の売上高は53億98百万円(前年同四半期比6.7%増)、営業損失5億83百万円(前年同四半期は営業損失4億62百万円)、経常損失4億88百万円(前年同四半期は経常損失3億64百万円)、四半期純損失5億12百万円(前年同四半期は四半期純損失2億74百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

## (ア) 試薬事業

臨床検査薬分野では、販売に注力しております一部製商品(自己免疫疾患検査試薬である「ステイシアMEBLux™ テストシリーズ」、がん関連検査試薬のうち多発性骨髄腫などの診断補助検査試薬である「FREELITE」や大腸がんの抗体治療薬の投与前検査に有用な遺伝子検査試薬「MEBGEN™ KRAS遺伝子変異検出キット」等)の売上は伸長したものの、主力の自己免疫疾患検査試薬での競合等による厳しい状況の継続、血液学的検査試薬の売上が減少したことから、分野全体の売上高は前年同四半期を下回りました。

基礎研究用試薬分野では、連結子会社である株式会社サイクレックス製品の売上増加、かずさDNA研究所での遺伝子解析受託をはじめとした総合受託の伸長、及び米国子会社での「MHCテトラマー試薬」の生産・ワールドワイドな販売などにより、分野全体の売上高は前年同四半期を大きく上回りました。

細胞診関連分野においては、前期より発売しております「MEBGEN™ HPVキット」が大幅な売上の増加に貢献しました。

これらに加え、蛍光タンパク質に関する新技術「Fluoppi」によるロイヤリティ収入及び前期の第2四半期に連結対象となった株式会社新組織科学研究所の受託事業が売上増に貢献しました。

試薬事業全体の当第3四半期連結累計期間の売上高は53億57百万円(前年同四半期比6.0%増)となりましたが、売上原価率の上昇及び積極的な研究開発投資に伴い、セグメント損失は5億92百万円(前年同四半期はセグメント損失4億48百万円)となりました。

## (イ) 投資事業

投資事業においては、前期末に設立したJSR・mb1VCライフサイエンス投資事業有限責任組合の管理収入により、当第3四半期連結累計期間の売上高は41百万円(前年同四半期比553.5%増)、セグメント利益は8百万円(前年同四半期はセグメント損失13百万円)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (ア) 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は127億55百万円となり、前連結会計年度末に比較して2億66百万円減少しました。

・流動資産：当第3四半期連結会計期間末で93億98百万円となり、前連結会計年度末より4億62百万円減少しました。

これは主に、原材料及び貯蔵品が98百万円、その他に含まれる前渡金が45百万円増加した一方で、現金及び預金が5億62百万円、受取手形及び売掛金が59百万円減少したためです。

・固定資産：当第3四半期連結会計期間末で33億56百万円となり、前連結会計年度末より1億96百万円増加しました。

1) 有形固定資産は16億3百万円となり、前連結会計年度末より1億57百万円増加しました。

これは主に、リース資産が22百万円減少した一方で、土地が1億28百万円、機械装置及び運搬具が52百万円増加したためです。

2) 無形固定資産は4億89百万円となり、前連結会計年度末より9百万円増加しました。

これは主に、無形固定資産の償却が進む一方で、のれんが43百万円増加したためです。

3) 投資その他の資産は12億63百万円となり、前連結会計年度末より30百万円増加しました。

これは主に、長期前払費用が62百万円、投資有価証券が55百万円、長期貸付金が26百万円減少した一方で、その他に含まれる出資金が1億75百万円増加したためです。

(イ) 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債の額は46億52百万円となり、前連結会計年度末に比較して3億85百万円増加しました。

・流動負債：当第3四半期連結会計期間末で24億57百万円となり、前連結会計年度末より81百万円増加しました。

これは主に、支払手形及び買掛金が77百万円減少した一方で、短期借入金が96百万円、その他に含まれる未払消費税等が47百万円増加したためです。

・固定負債：当第3四半期連結会計期間末で21億95百万円となり、前連結会計年度末より3億4百万円増加しました。

これは主に、その他に含まれるリース債務が24百万円減少した一方で、長期借入金が3億46百万円増加したためです。

(ウ) 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産の額は81億3百万円となり、前連結会計年度末に比較して6億51百万円減少しました。

これは主に、配当金の支払い及び四半期純損失の計上により、利益剰余金が6億15百万円減少したためです。

自己資本比率は63.3%（前連結会計年度末は66.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年1月9日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社ライフテックの株式を取得し同社を子会社化したため、当第3四半期連結会計期間より、連結の範囲に含めております。ただし、当第3四半期連結累計期間における損益に与える影響は軽微であります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,927,255	5,364,760
受取手形及び売掛金	2,079,572	2,020,106
有価証券	8,124	10,280
商品及び製品	796,988	773,131
仕掛品	508,018	509,556
原材料及び貯蔵品	424,803	523,101
その他	125,930	203,075
貸倒引当金	△8,769	△5,074
流動資産合計	9,861,923	9,398,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	561,734	585,748
機械装置及び運搬具(純額)	127,834	180,559
土地	67,490	195,575
リース資産(純額)	242,172	219,282
建設仮勘定	159,495	140,267
その他(純額)	287,911	282,395
有形固定資産合計	1,446,639	1,603,828
無形固定資産		
のれん	200,325	243,480
その他	279,954	246,421
無形固定資産合計	480,279	489,902
投資その他の資産		
投資有価証券	417,201	361,736
長期貸付金	432,488	405,531
長期前払費用	324,748	262,179
その他	278,967	483,852
貸倒引当金	△220,401	△250,194
投資その他の資産合計	1,233,004	1,263,104
固定資産合計	3,159,923	3,356,834
資産合計	13,021,846	12,755,771

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	417,612	340,401
短期借入金	1,310,558	1,406,856
未払法人税等	19,523	28,420
その他	628,004	681,468
流動負債合計	2,375,698	2,457,146
固定負債		
長期借入金	1,682,562	2,029,000
その他	208,811	166,513
固定負債合計	1,891,374	2,195,513
負債合計	4,267,072	4,652,660
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,482,936	4,482,936
資本剰余金	4,198,820	4,198,820
利益剰余金	73,880	△541,707
自己株式	△43,493	△43,493
株主資本合計	8,712,143	8,096,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59,530	118,984
為替換算調整勘定	△57,730	△136,888
その他の包括利益累計額合計	1,800	△17,903
新株予約権	14,288	14,288
少数株主持分	26,543	10,172
純資産合計	8,754,774	8,103,111
負債純資産合計	13,021,846	12,755,771

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	5,057,510	5,398,377
売上原価	2,158,223	2,393,026
売上総利益	2,899,286	3,005,351
販売費及び一般管理費	3,361,774	3,588,752
営業損失(△)	△462,487	△583,401
営業外収益		
受取利息	11,664	11,133
為替差益	107,046	143,377
保険配当金	4,637	4,848
その他	17,101	14,947
営業外収益合計	140,450	174,307
営業外費用		
支払利息	27,160	24,594
持分法による投資損失	14,552	52,504
その他	483	2,182
営業外費用合計	42,197	79,282
経常損失(△)	△364,234	△488,375
特別利益		
国庫補助金	25,657	7,466
固定資産売却益	207	—
受取補償金	15,728	—
特別利益合計	41,592	7,466
特別損失		
固定資産除却損	2,007	454
特別損失合計	2,007	454
税金等調整前四半期純損失(△)	△324,649	△481,364
法人税、住民税及び事業税	24,480	32,783
法人税等還付税額	△71,650	—
法人税等合計	△47,169	32,783
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△277,479	△514,147
少数株主損失(△)	△2,962	△1,978
四半期純損失(△)	△274,517	△512,169



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△277,479	△514,147
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,646	59,454
為替換算調整勘定	△13,327	△80,499
その他の包括利益合計	△31,973	△21,045
四半期包括利益	△309,453	△535,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△310,093	△531,872
少数株主に係る四半期包括利益	639	△3,320

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 ※
	試薬事業	投資事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,055,676	1,834	5,057,510	—	5,057,510
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	450	4,500	4,950	△4,950	—
計	5,056,126	6,334	5,062,460	△4,950	5,057,510
セグメント損失(△)	△448,598	△13,888	△462,487	—	△462,487

※ セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「試薬事業」セグメントにおいて、株式会社新組織科学研究所が、株式会社組織科学研究所より事業を譲り受けたため、当第3四半期連結累計期間において、のれんが114,754千円増加しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 ※
	試薬事業	投資事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,356,982	41,394	5,398,377	—	5,398,377
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	450	—	450	△450	—
計	5,357,432	41,394	5,398,827	△450	5,398,377
セグメント利益又は損失(△)	△592,036	8,634	△583,401	—	△583,401

※ セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「試薬事業」セグメントにおいて、当社が株式会社ライフテックの株式を譲り受け子会社化したため、当第3四半期連結累計期間において、のれんが71,778千円増加しております。